

中込中央区等住民説明会において出された質問・要望に対する回答

1	質問	臼田町当時、佐久総合病院の改築の際には、「南佐久町村会」、「北佐久町村会」、「佐久市」で補助金を出したと聞いている。今、各自治体の税収が落ちて財政が厳しい状況にあるので、県で補助金を出してもらいたい。
	回答 県	病院の建設に係る補助制度がありますので、佐久総合病院の再構築計画が具体的になった段階で、どのような支援が可能か検討してまいりたいと考えております。
2	質問	病院には固定資産税がかからないため、佐久市の税収が減ることとなる。そこで、その分の工業用地として、県が所有している「長野牧場の一部」(佐久クリーンセンター東側)を、病院建設予定地と同じ面積程度、県が佐久市に払い下げをすることは出来ないか。
	回答 県	長野牧場については、県有地ですが、従来より「独立行政法人家畜改良センター茨城牧場長野支場」が賃借し、種子の生産などを行っております。純粋な種子の生産には、連作や他品種との交配を避けるための広いほ場が必要であり、払い下げは困難と考えております。
3	質問	ドクターヘリの音に関して、緊急性を有するものについては、今のところ騒音の規制対象ではないと聞いているが、当然のことながら、許容できる範囲というものがある。については、どの方向にどれくらい離れたら、どの程度の騒音が出るのか、シミュレーションによる検証を実施し、結果を示してほしい。
	回答 病院	騒音測定結果の概略は別紙資料のとおりです。
4	質問	道路を拡幅することは非常に良いと思うし、その費用を市が負担する事は問題がないと思う。しかし、ドクターヘリの音に関しては、迷惑に思うという意見も聞かれる中、最初にこの問題に取り組むべきではないか。また、防音工事などの必要が生じた場合、費用はだれが負担するのか。
	回答 病院	ドクターヘリの音については、12月の説明会で不安の声をいただきましたことから、市と協議し、2月13日(土)に模擬飛行を実施させていただきました。参加された皆様の声として「それほど気にならない。」等不安が和らいだ旨の声が報道発表されております。なお、ドクターヘリという性格上、個々の住宅等の防音工事の実施報告やその費用を病院が負担をしたという事例はありませんのでご理解をお願いします。
5	質問	救急車の騒音について、近隣住民の対応をどのように考えているのか。
	回答 病院	現在、佐久病院では年間3,400～3,500台の救急車を受け入れていますが、(仮称)基幹医療センターにこの台数の全てがいくわけではありません。臼田以南の救急車は臼田の本院でも受けられますので、現在の三分の二程度になると思われます。また、音については、病院への出入口を複数確保すること等で、できる限り分散させ、住民の皆様への影響を少なくしたいと考えております。
6	質問	具体的に病院の高さはどのくらいになるのか。
	回答 病院	高さは、約20メートルで計画しております。なお、別添資料に配置計画や立面のイメージをお示しておりますので、ご覧いただきたいと思ひます。
7	質問	新しく病院が出来ることによって、患者や見舞客などによる道路渋滞が予想されると思うが、お見舞いの方や診察に来る人など、1日どれくらいの人数を想定しているのか。
	回答 病院	(仮称)基幹医療センターの1日平均外来患者数は約700人と想定しております。また、その他にお見舞いの方、付き添いの方、業者さん等が来院されることとなりますので、1日当りの来院人数は約1,000人と想定しています。外来患者さんは、予約診療が基本ですので、1度に700人が来院されることはありませんし、また、業者さんの進入路等を指定するなど道路渋滞により周辺住民の皆様にご迷惑をかけないようにしていきたいと思ひます。
8	質問	(仮称)基幹医療センターには、どの位の職員が従事するのか。また、この内、中込中央区に住む職員はどのくらいになるのか。
	回答 病院	(仮称)基幹医療センターに従事する職員数は、当初約900名でスタートする計画です。敷地内に研修医等宿舎を整備する予定ですが、中込中央区に居住する職員数については、予測することが困難であると考えます。

9	質問	今の医療の中で、がん治療は重要な役割であると思う。基幹医療センターの建設をしっかりと進めてもらいたい。
	回答 病院	がん診療は診療機能の大きな柱です。また、地域がん診療連携拠点病院としても充分機能が発揮できるよう充実に努めてまいります。
10	質問	(仮称)基幹医療センターで行われる医療は、どの程度が保険診療の対象で、保険診療で賄えない部分はどれくらいあるのか。(仮称)基幹医療センターは、保険診療対応の医療提供を行う機関であってほしい。
	回答 病院	(仮称)基幹医療センターは、従来の佐久病院と同様に保険診療が基本です。
11	質問	中央区の住民が病気になった場合、気軽に(仮称)基幹医療センターで診察してもらうことは出来ないのか。また、これからは病院が患者を選択し、患者は病院を選択することが出来なくなるのか。
	回答 病院	患者さんが病院を選ぶということに変わりはありませんが、(仮称)基幹医療センターは、原則として救急・急性期・専門医療を行う紹介型の病院です。各医療機関の役割に合わせて受診していただくことが、医療機関のみならず、住民の方々にとっても良いことだと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
12	質問	病院の再構築には概ね210億円程度の資金が必要になると聞いたが、厚生連では、国、県、市からの財政支援、借入金などを含め、どのような資金構成を考えているのか。
	回答 病院	資金構成とすれば、総事業費の20%を自己資金で賄い、残りを借入金・補助金等で検討しております。今後、基本設計や実施設計等の進捗により具体的な費用が明確になった段階で、再度資金計画を見直し、やむを得ず他に負担を求めなければならない場合には、関係機関にお願いしてまいりたいと考えております。
13	質問	佐久病院は自己資金が少ないと聞いたが、そうすると、将来にわたって利益を出さないと病院は存続できないと思う。佐久病院は、これから2つの病院を運営をしていくとしているが、将来的に経営の見通しはどうか。
	回答 病院	2つの病院の運営については、しっかりとした見通しのもとに今までどおり全力をあげて経営を行っていきます。なお、安定的な経営を図るため、関係機関との協議を続けてまいります。
14	質問	平面的な踏切は2か所あるが、北中込駅に列車が止まると「津上踏切」にも規制がかかる状況もある。この間、救急車は踏切を通過出来ない訳だが、市はそれをどのように考えているのか。
	回答 市	(仮称)基幹医療センターのメインの出入口となる北側市道の第1北中込踏切は、踏切幅と合わせて変則交差点の改良をすることにより、渋滞の解消を図りたいと考えております。また、南側の津上踏切については、「現状で拡幅すると非常に危険であり認められない。」との見解を、JRおよび公安委員会より示されておりますので、市道S31-62号線と都市計画道路原南部線の計画路線の一部を利用し、小海線を高架で交差するルートを考えており、現在、現況測量を行っております。
15	質問	(仮称)基幹医療センターの職員数、患者数から考えると交通渋滞が懸念されるが、「津上踏切を高架にする」、「下を通す」等の改修について、検討はされているのか。また、患者さんや病院職員の出入口、病院の国道141号線に通じる出入口も、もう少し良くするよう考えていただきたい。
	回答 市	津上踏切については、立体交差にする場合は、移転が必要となる建物が多く、莫大な費用がかかる上、周辺の土地利用が困難になるなど、多くの課題が生じます。また、踏切の平面改修をする場合も、多くの皆様に移転していただかなければ道路としての様々な基準に適合したものとならず、津上踏切の改良は非常に困難です。そのようなことから、市といたしましては、小海線との立体交差が可能な「都市計画道路原南部線」の計画路線の一部を利用するルートを検討するため、現在、現況測量を行っております。また、国道141号線へのアクセスを良くするため、病院建設予定地北側及び南側の市道を拡幅改良し、渋滞緩和に努めたいと考えております。

16	質問	市長は、今年の初め頃、「市としても病院の再構築に対し、財政支援を行っていく。」という話をしたと思う。市は、どの程度の財政支援を考えているのか。
	回答市	<p>現段階において、佐久総合病院から直接的な財政支援の要請をされた経過はありません。しかし、市ではこれまで、佐久総合病院の再構築問題に対し、この問題に取り組むための専門部署の設置、周辺の市道の測量・調査などを行って参りました。さらに今後は、国・県の補助をいただけるよう市としても支援していきたいと思えます。</p> <p>仮に今後、具体的な財政支援の要請があった場合は、(仮称)基幹医療センターの開設が佐久市内の医療体制の充実という面で医療関係者の理解を得、また、市民の皆様の理解が得られたならば、その話し合いのテーブルに着く用意はあると考えております。</p>
17	質問	佐久病院が、(仮称)基幹医療センターをつくることには賛成である。しかし、本来市政の基本である人口や税収を増加させるという観点において、この(仮称)基幹医療センターの建設計画は、そのための企業誘致の基盤となる「工業専用地域」を減らすことになる。また、それを改めて指定する場合は困難を伴うと思う。市では、減った分の工業専用地域をほかに確保する予定はあるのか。或いは、今後企業誘致は行わない予定なのか。
	回答市	<p>佐久市の都市計画用途地域の中で、ツガミ跡地を含む中込中央区等の工業専用地域は、市内唯一のものであり、工業振興を図るという観点では、同じ機能を持つ工業団地と並び重要であると認識しております。</p> <p>しかし、一方で、全国的な医師不足等を背景とした医療崩壊という問題もまた、佐久市にとって大きな課題であり、佐久総合病院の再構築は、この医療崩壊を防ぐ一つの手立てとして、大変重要な役割を果たすものと考えております。市としては、「市民の皆様への安定した医療提供の確保」を最初に取り組むべき課題として捉え、佐久総合病院の再構築を支援しております。</p> <p>「減少した工業専用地域をどうしていくのか」ということにつきましては、佐久市全体の土地利用を考える中で、長期的な視点に立ち検討をしております。</p> <p>なお、工業は、雇用の創出や市の財政基盤を支える大きな役割を持っておりますので、今後も積極的に企業誘致を行ってまいりたいと考えております。</p>
18	質問	佐久総合病院の再構築による(仮称)基幹医療センターの建設地が、「ツガミ跡地」でなくてはならない理由は、平成21年2月の長野県知事裁定に従っているというだけのものなのか。
	回答市病院	<p>(病院) 建設予定地は、東信全域における基幹医療センターとして、機能を発揮する上で最適な場所として考えております。</p> <p>(市) 知事裁定は重く受け止めるべきと思いますし、この裁定に当時の佐久市長と厚生連理事長は合意しております。従いまして、ツガミ跡地を候補地として所要の手続きに入るとされておりますので、ここを否とすべき重要な問題がない限り、ツガミ跡地での病院建設に取り組んでおります。</p>
19	質問	市の例規では、用途地域により建物の高さ制限がある。用途地域の指定変更が決まらなると高さを決める事が出来ないし、高さが決まらなると病院の設計の基本が出来ないと思うが、今、どのような段取りで計画を策定しているのか。また、市の例規では、「準工業地域での高さは20mまで」という制限がある。もし、これ以上にする必要がある場合、市長が特例で認めることで「40mまで緩和することが出来る」となっているが、市長はこの特例を使う考えがあるのか。
	回答市病院	<p>(病院) 市と協議を進める中で、敷地レイアウト、建物配置等を検討してまいりました。病院としては、資料に掲載させていただいたように患者様の平行移動を基本とした低層階の病院を計画しております。今後も、県・市のご指導の下、検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>(市) 病院建設が可能となる望ましい用途を検討してまいります。建物の高さにつきましては、佐久市開発指導要綱を基に地区計画策定により対応してまいります。</p>

20	質問	<p>現在、臼田の佐久病院周辺では渋滞を経験したことがないが、(仮称)基幹医療センターが建設されることによりこの中込中央区では、どの程度の渋滞が予想されるのか。</p>
	回答 市 病院	<p>(病院) 現在の佐久病院には1日約1,800人の外来患者さんが来院され、職員数1,500人が従事しておりますが、臼田の地では目立った道路渋滞が起きている状況はありません。(仮称)基幹医療センターは、1日平均の外来患者数を約700人と想定しており、また、勤務する職員数は約900人で計画しております。しかし、紹介型病院であるため、患者さんも時間予約での受付となることや、職員数も交代勤務の看護師等も合わせた総数であるため、一時に集中することは想定されませんが、周辺住民の皆様のご迷惑とならないよう、入口の分散等も検討してまいります。</p> <p>(市) 以前から東側の2か所の踏切が、地区のまちづくりに支障を与えているというご指摘や、病院に関連する車両の増加を考慮いたしまして、道路の拡幅改良を計画しているところであります。</p>
21	質問	<p>今回の説明会には、(仮称)基幹医療センター建設に伴う住環境の変化に対し、その不安を解消したいという思いで参加した。ところが、ヘリポートの位置や、建物の高さ、周辺の道路計画などの具体的な内容が示されていないが、今回の説明で終わりなのか。再度説明会を計画しているかどうかも含め、今後のスケジュールを示してほしい。</p>
	回答 市 病院	<p>(病院) 本院及び(仮称)基幹医療センターの再構築計画の進捗状況や市民の皆様のご理解など段階を追って説明会を開催する等進めています。ヘリポートの位置、建物の高さ等については、別添資料にお示しをさせていただきました。</p> <p>(市) 12月の説明会時点では、病院の基本設計を進めるにあたり、事前に皆様に構想をお示ししてご意見をお伺いする中で、設計等に反映していく視点もありましたので、病院は、用地内の大まかな配置計画をお示しするのに留まり、また、市としては中込中央区のまちづくりを考える中で、改良予定路線と整備計画の概要をお示しいたしました。今後、病院の基本設計及び道路設計の進捗状況に合わせて、住民の皆様への説明を行う予定です。</p>
22	質問	<p>佐久市の医療を守る、市民の命を守るという観点で、早急な再構築に向け、市も佐久病院も、もっと使命感を持って取り組むべきである。再構築に対する今の市の姿勢は、明確ではない。また、病院側も取り組みがあやふやである感じがするが、今の取り組みを、市、病院はそれぞれどのように考えているのか。</p>
	回答 市 病院	<p>(病院) 佐久病院としては、「医療崩壊を防ぐ」、「この地域の医療を守る」という姿勢で一日も早い再構築の実現を目指しています。そのため、病院内部においては、運営基本計画の策定や基本設計の作成に全職員で取り組んでおります。</p> <p>(市) これまでの佐久市の医療供給は、医療関係者のご努力と医療機関の立地バランスの良さから、他地域に比べると良好な状況でありましたが、近年の医療情勢に対処する為の再構築の必要性については、市も十分理解をしております。しかし、病院の再構築により生活環境等が変化する住民の皆様への配慮が必要であることから、臼田地区、中込中央区の住民の皆様や工業者の皆様への説明会を開催し、ご理解いただくことに努めております。市民全体から見た場合、医療環境を整えることも大切です、住民の生活環境を守ることも大切なことだと考えますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
23	質問	<p>佐久総合病院の再構築問題については、市民全体で考える機会があった方がよい。</p>
	回答 市 病院	<p>(病院) 佐久病院の再構築は医療機関や行政だけの問題ではなく、地域住民の方々のご理解とご協力が必要と考えております。その点では、このような機会を設けていただき、市民に公開されていることに、感謝しています。</p> <p>(市) この再構築問題につきましては、何よりも関係地域住民の皆様のご不安解消に努めなければならないと考え、これまで取り組んでまいりましたし、今後も同様に進めてまいります。しかし、この問題は、佐久市全体の市民の皆様にもご理解をいただく必要がありますので、今後、関係地区の皆様とのお話し合いを続けながら、佐久市民全体を対象とした説明会も併せて開催して参ります。</p>

※質問欄は、12月の中込中央区等住民説明会において出された質問・要望等を集約のうえ記載しています。

※回答欄の病院とは、厚生連と佐久病院の双方を指します。